

(様式)

平成29年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・「店ではたらく人」や「ごみの処理と利用」「安全なくらし-交通事故や事件」など児童にとって身近な暮らしについての正答率が高い。自分たちの生活と社会科の学習が結び付きやすく、体験や経験を通して答えを導くことができている。
- ・ICTによる視覚的な学習や体験的な学習を行ってきたことで、社会科における基礎的な知識の定着が徐々に見られる。

(2) 課題

- ・資料等から必要な情報を読み取り、考察する力が不足している。引き続き、調べて分かったこと等について話し合ったり、意見を述べたりする学習を取り入れていく必要がある。
- ・日本地図や世界地図、絵地図など地図全般に見慣れておらず、地図の見方については課題が残る。また、方位磁針や地図記号を活用する場面では、基礎知識は身に付いているが、それらの知識を活用して考察するような問題に取り組むことは難しい。
- ・社会的事象への関心・意欲・態度において、学年が上がるごとに低下傾向が見られる。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率の変化(経年比較)

	平成29年度結果	平成28年度結果	平成27年度結果
第4学年	達成率±0		
第5学年	達成率-12.0	達成率±0(第4学年時)	
第6学年	達成率-8.9	達成率-19.0(第5学年時)	達成率±0(第4学年時)

(2) 分析(観点別)

4・5・6学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
区の平均と同程度か、やや低い正答率である。 社会科の学習内容と身の回りの生活とを結び付けようとしている。しかし、社会的事象への興味や関心を十分にもてずにいる児童も少なくない。	区の平均と同程度か、やや低い正答率である。 <u>資料の読み取りを丁寧に行い、社会的事象と結び付けて考え、自分の言葉で表現する機会を多く学習の場に取り入れる。</u>	区の平均と同程度か、やや低い正答率である。 グラフや表、地図の読み取りや、複数の資料を比較した際の変化の様子を考える力が不十分である。 <u>図表から情報を収集し、まとめる作業を授業に取り入れていく。</u>	区の平均と同程度か、やや低い正答率である。 地図記号や日本の工業地帯の名前、 <u>日本の農業など、知識の理解で不十分なところ</u> がみられた。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 中学年

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>学校の回りや大田区など、身近な地域の様子についての関心は高い。自分たちにとって身近な地域を基にして、他の地域との比較をさせることで、徐々に広い地域に目を向けられるようにする。</p>	<p>様々な種類の資料を与え、資料のもつ特徴を考えながら、必要な情報を収集したり、選択したりする学習経験を積み重ねていく。<u>また、考えたことやまとめたことをノートに書かせるなど、学習内容を自分の言葉でまとめる学習を積み重ねる。</u></p>	<p>グラフや図表などのもつ意味を正確に読み取れるようにするため、算数の学習（棒グラフ・折れ線グラフなど）と関連づけて理解させる。 絵地図を作成する際に、方位を意識させたり、方位磁針を実際に活用したりする機会を取り入れていく。</p>	<p>地図記号や方位、地域の名称を確実に理解するために、繰り返しの学習をする。そのために、社会科見学や地域めぐり、身近なスーパーや工場の見学など、体験的な活動や身近な環境から理解を深められるようにする。</p>

(2) 高学年 日本の産業構造をただ覚えるのではなく、気候や地域の特性、人口などにも関係することに着目し、考えさせる。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
<p>日本の産業（農業・水産業・工業）について、児童自身の身近な生活と結び付けて考えることができるように、資料に加えて写真・ビデオ・動画等、教材を工夫して <u>ICT を活用して視覚的にとらえさせること</u>で、児童の興味・関心を高めしていく。</p>	<p>知識として得た社会科用語を使って、学習して分かったことを文章で表現したり、説明したりする活動を多く取り入れていく。 <u>資料から分かることとともに、変化の原因や理由、推測できることなどを考えさせる学習を積み重ねていく。</u></p>	<p>資料に慣れるためにも、資料を読み取る活動を取り入れ、資料の良さや必要性を実感させる。</p>	<p><u>日本の産業構造をただ覚えるのではなく、気候や地域の特性、人口などにも関係することに着目し、考えさせる。</u> 学習により得た知識を確実に定着させるために、授業や単元の終わりに、用語やキーワードを使って文章でまとめたりする。基礎的知識を活用できるようにする。</p>